

カーボンニュートラルフォーラム 2025 開催報告

併催:カーボンニュートラルセミナー水戸会場, 第3回茨城県地球温暖化防止活動推進員研修会

12月7日 ホテルレイクビュー水戸

本年度で4年目となるカーボンニュートラルフォーラム 2025 を開催いたしました。

2050 カーボンニュートラルの実現に向け、自治体・企業・市民・地域のステークホルダーを交えたフォーラムを休日となる12月7日に開催しました。

当日は100人を超える方々に来場いただき、講演者との交流も行えるなど、大変盛況な場となり、2022年10月に環境省から発信された「デコ活」（脱炭素につながる新しい豊かな暮らしを創る国民運動）をはじめ、県内自治体や推進員のカーボンニュートラルに向かう様々な取組をご紹介します。

【Part1. デコ活って なんだろう？】

はじめに「いばらき住みます芸人 オスペンギン」様から「デコ活」の7つのテーマに笑いを交えたご講演をいただきました。芸能の視点から見た「デコ活」はとてもわかりやすく、会場は盛り上がり、最後はクイズでプレゼントをいただきました。ご講演いただいたオスペンギン でれすけ様、山中崇敬様に、今後は「いばらきデコ活芸人」としての活動を期待しております。



【Part2. デコ活の実践実装に向けて デコ活応援隊】

環境省 地球環境局 デコ活応援隊から東海林帆(しょうじひろし)様を迎え、環境省の新しい国民運動「デコ活」についての詳細なご講演をいただきました。「デコ活」の成り立ちから「くらしの10年ロードマップ」までわかりやすくご説明され、デコ活応援団の連携マッチング、脱炭素型取組・製品・サービスの発信、補助金事業による社会実装型取組支援など豊富な事例を基に、「デコ活」の根幹である社会実装型の官民連携プロジェクトについてご講演いただきました。参考事例でご説明された「デコ活補助金」については、脱炭素化を目指す企業団体の方々に有益な情報になりました。



【Part3. 地域協働で進める CO₂削減事例】

カーボンニュートラルへ向かう市町村自治体の事例から日立市・茨城町の取組をご紹介します。

「日立市」からは産業経済部 商工振興課 中川凌吾(なかがわりょうご)様より「日立市における中小企業脱炭素経営促進の取組について」をご講演いただきました。日立市は大企業発祥の地として発展を遂げてまいりました。地域には大企業を支える中小企業が多数操業されております。日立市は中小企業が脱炭素経営へ移行するための支援を永らく続けてまいりました。脱炭素経営コンソーシアムの組織化、脱炭素経営システムの構築と利用拡大に向けた運用、省エネ設備補助金事業、優良事業者へのゼロカーボンアクション表彰など、素晴らしい取組についてご講



演いただきました。来場者の方々は、脱炭素経営へ向かう企業団体に寄り添う取組が、ものづくりの町である日立市のカーボンニュートラル推進につながっていることをご理解いただけたと思います。

「茨城町」からは生活経済部 みどり環境課 猪狩裕介様より「ラムサール涸沼水鳥・湿地センターの地域協働と新文化的施設へ再生可能エネルギー高度化施設の導入」についてご講演いただきました。昨年オープンした涸沼水鳥・湿地センターと町の中心部をつなげる取組として、経済産業省のエネ高補助金を活用した再エネ導入利活用事業についてご説明されました。新たに建設中の新文化的施設（いば SUN ホール）に、再エネで発電した電力を使い、ラムサール登録湿地涸沼の魅力をデジタルサイネージによって表現する計画に沿って整備している最中です。訪れる方々に、涸沼の魅力を知っていただき、水鳥・湿地センターで行われているネイチャー体験への参加を促すこと、涸沼の魅力を知って、また来たい。と思っただくことが狙いです。茨城町の豊かな自然環境から得られる賑わいの創出を話題に、エネルギー転換理解促進の計画についてご講演いただきました。



参加された自治体の皆様や地域で活動される議員の皆様には大変参考になる内容でした。

【Part 4. 推進員のカーボンニュートラルアクション】

茨城県地球温暖化防止活動推進員で外務副大臣の国光あやの衆議院議員様より表題に沿った参考事例についてご講演いただきました。国光あやの推進員は、環境・気候変動対策エコフォーラム運営事務局として[つくば「エコ(環境)フォーラム」]を4年前から地元のつくば市で行っています。医師の仕事に邁進された時代にアフリカで気候変動の脅威を感じ、日本でも近年増大する影響に適応する必要性を感じたことがきっかけで、フォーラムの開催に至りました。フォーラムは、中身の濃い講演会ではなく、地域の方々がブースやマルシェを出展し、楽しめて学べる1日を提供することを心がけてきたとのこと。賑わいをつくりながら、参加いただいた方々が少しでも気候変動対策に関心を持って、行動に移せるような仕組みづくりに注力してきたことを伝えていただきました。その上で今後も永く開催していくことを熱くお話ししました。



また、議員の立場から高市政権の「環境・エネルギー政策」についても言及され、11月末に閣議決定された予算案の中から脱炭素につながる補助事業制度等のご説明もいただき、来場した皆様には、とても有意義な時間となりました。

今年最後のフォーラムにご協力いただいた講演者の皆様、参加いただきました皆様に御礼申し上げます。次回の講演会は年明け、1月25日に水戸プラザホテルにて、SDGs フォーラムを開催します。お申込みお待ちしております。